

## 今年の課題コンテスト「野」

### 最優秀作品は合原作品「草原の野獣」に

課題コンテスト、元大阪ビデオサークル（OVC）の人気イベントの一つで毎年宮中で行われる歌会始めの儀で、来年の「題」が決められるのに合わせて、ビデオ作品をつくろうというコンテストです。過去、公開映写会にも発表されるような良い作品が作られています。この催しもOMCが引継いで実施するもので、来年の御題が「野」であることから。「野」の入った題名が入っていれば内容の如何に問わず、10分以内の作品にしてコンテストに出品し、会場に参加している全員が持ち点、1位3点、2位2点、3位1点という無記名投票で順位を決める、というルールで行いました。出品は11作品ですが、河合作品はどういうわけか再生できず棄権となり残念でした。結果は次の通りです。

■最優秀賞	合原一夫	「草原の野獣」	17票	8分20秒
■優秀賞	江村一郎	「湖北の野鳥」	16票	7分00秒
■秀作賞	関 剛	「津和野」	14票	10分00秒
■努力賞	稲田 拡	「北野天満宮」	10票	6分10秒
(以下同じで 順不同)	紙本 勝	「岸辺の野草たち」		8分20秒
	高瀬辰雄	「野点大茶之湯」		4分30秒
	前田茂夫	「枯野を行く」		6分32秒
	野田邦雄	「野面積み」		6分37秒
	有村 博	「野外とドーム」		9分03秒
	進藤信男	「春の野にいでて若菜摘む」		7分35秒

## 5月例会のお知らせ

■第2例会：5月19日（第3木曜日）13時より難波市民学習センターにて開催。今月は去る3月17日に野田金属工業で行われたミニ撮影会のコンテストを行います。多くの方の参加をお待ちしています。コンテスト終了後は時間まで一般作品上映を行います。作品をご持参ください。

■通常例会：5月28日（第4土曜）18時より開催、良い季節となりました。会員のみなさん、どうぞお越し下さい。2次会共々大いに楽しみましょう。

## 課題コン「野」短評

会長 合原 一夫

この度の課題コンテスト「野」は、実にバラエティに富んだ作品が揃い、楽しく拝見しました。なかには無理に「野」を入れた題名にしなければいけないとして付けられた題名もありましたが、ほとんどが成程、こんな題材があったのか、納得がいくものが多かったように思います。くじびきによる上映順から感想を述べてみますと、①野点大茶之湯、高瀬氏の作品は京の芸子さんによる北野天満宮梅花祭での野点の風景、華やかな雰囲気が出ていて楽しく拝見しました。野点の近景がうまく撮られているのが良かったですね。②岸辺の野草たち、紙本氏、冬から春にかけて淀川の岸辺で小鳥や野草、草花をねらわれており、淀川の岸辺にも豊かな自然が残っていることが描かれています。前半、野鳥たちがたくさん出てくるので題名も、「岸辺の野鳥と野草たち」でも良かったのではないかと思います。野草のところはもう少しカットを短くしてもよいのではと思いました。③津和野、関氏、「野」の課題で「津和野」が出ることは予想外でした。旅物語として立派な出来でした。④野面積み、野田氏、大和郡山城の石垣を丹念に撮られています。解説があったらなあと思いました。熱心に撮影に行かれたことには敬意を表します。⑤野外とドーム、有村氏、花園ラグビー場と野球場、この屋外の競技場とドーム球場の室内競技場との対比を描いたものと思います。野外と屋内のどっちがどうだとの感想が欲しいところ。⑥湖北と野鳥、江村氏、これはもう公開映写会にだしてもいい程の出来映え。湖北の鳥たちの雰囲気十分出ていました。⑦草原の野獣、合原、私の作品ですが、むかし撮ったサバンナの映像を何とか陽の目を見せようと、天王寺動物園をからめて作品化。⑧春の野にいでて若菜摘む、進藤氏、豊能町の山奥での一行事を記

録。⑨北野天満宮、稲田氏、合格祈願の若者達をうまく描写。⑩枯野に行く、前田氏、小学3年お孫さんを淀川のよし原を散策&自転車。主役はお孫さんですが、夕陽と枯れすゝきの逆光等、風景として残照の美しさを描き、お孫さんを添景として描く手もあったのではないかと、ふとそんな気もしました。

## メールアドレスのお知らせ

植村 朝一 様

野田 邦雄 様

TOPの会員専用ページからご確認ください（会員名簿更新済）

---

## 4月通常例会レポート

4月例会は23日18時より難波市民学習センターにて開催。司会は合原氏、書記、坪井氏、上映、井上氏、テープ録画、河合氏、今月からパソコン録画、江村氏、受付、森下、森口両氏、掲示、紙本氏。

■出席者：井上、稲田、江村、紙本、河合、合原、柴辻、進藤、関、高瀬、坪井、鉄具、西村亀雄、野田、華岡、前田、森口、森下、森田、山本の20氏と見学者1名の計21名。出品作品は11本でした。

■上映作品（講評：坪井世話役）

### 1. 冬の竹田にて 前田茂夫 7分45秒

荘厳さが漂う雪の竹田城がなんとも美しい！そして列車が行き交う町の風景が変わっていきます、ちょっと始まりのイメージとは違ってきたような・・・私的にはそのまま映像美を見ていたかったな～、でもタイトルからすると後のがメインなのですね。町の人や列車の説明があって作者ならではの思いも込められた秀作である事は間違いないのですが、どうにも最初の映像美が印象的すぎて忘れられません。映像美で是非もう一作創ってくださいとお願いせずにはいられない気持ちです。さらに言わせていただくなれば、自前の曲まで作るのは著作権に悩まされた作者ならではの苦勞だと敬服いたします、が・・・、作品の完成度に曲が追いついていないように思います。せっかくの作品を曲が足を引っ張ってるように感じました。両立は難しいですね・・・

### 2. シャルガン鉄道とベオグラード 華岡 汪 15分15秒

うわーぶつかる！と、思わず首をすくめるような車窓からの風景がまだ目に浮かびます。鉄道マニアでなくても嬉しくなるようなレトロな列車の旅、展望台からは今登ってきたレールが箱庭のように広がり絶景ですね！こんな美しい所と対照的な戦禍の傷跡が悲しく印象的でした。毎回難しい所へ行かれますね、ニュースで聞いたような地名や舌を噛みそうな地名。その地を実際に見て日本では報道されない現状や観光地としてたくましく生きる人々をご自信のナレーションで構成された作品は報道作品と言えると思います。ボスニア、ユーゴ、クロアチア、コソボ等々と聞き覚えのある地名ですが私にとってまったく見当のつかない地域を少しだけ知る事ができました。中でも一人の女性が一瞬だけ写ってましたが、奥様でしょうか？リクエストに応じていただきありがとうございます（笑）

### 3. 棚田の四季 紙本 勝 13分00秒

一ヶ所ではなく各地の棚田の風景を一年を通して作品にされました。棚田という場所が交通の便も不便な所へ何度も出向かれての撮影はさぞ大変だったと察します。城壁のように石垣を積み、水をどうやって順に配っていくのかと先人の知恵と技術が作り出した日本の原風景のような美しい風景には心が和みます、カメラマンも多いですね特に早乙女の田植えは人気殺到ですね、緑と赤いたすきが目に鮮やかで絵になります。秋の収穫には子供達も慣れない釜を手に稲刈りをしていました、危なくないのかな？見ている方が緊張してしまいます私には怖くてとても使う事は出来ないでしょうね。いつも自分撮りをしながら山城などを作品にしている作者ですが、今回は比較的楽な撮影（笑）だったのではないのでしょうか？私にはマネできませんが・・・

### 4. 台所を支えた生野銀山 進藤信男 12分20秒

佐渡金山や石見銀山は有名なので私でも知っていますが、生野銀山ってどこ？恥ずかしながらまったく知りませんでした。人形を使った展示で紹介されているのは何処も同じみたいですね、館内の説明のガイド音声とナレーションとを併用したような構成に聞こえましたが、ナレーションのみにして構成されたほうが分かり易いのではないかと思います。ナレーションとナレーションの間が長く感じ、特に見せ場という様な盛り上がりも無いようなのでもう少し凝縮されてはと思います。テロップにも工夫されて変化をつけてありましたがかえって少し見づらかったです。こういった地味な施設を紹介するのは難しいですね、何か関連したエピソードがあれば良いのですが・・・今の内容ですと8分くらいで収まると思うのですが私の勝手な印象のみの意見ですみません。

## 5. 泉州YOSAKOI 江村一郎 8分00秒

YOSAKOIの江村さんと言うだけあってカットさばきは慣れたものですね！鳴子の音に見ている方もウキウキしてきます。こういう素材は音声をうまく繋がないと調子が崩れるので映像だけでなく音声にも気をつかいますよね、何組かそれぞれ曲の違うグループを編集して見せるのは難しいと思いますが実に自然に繋がって見えました。撮影は一人でカメラ1台だとは思いますが、アップありロングありの躍動感に満ちた作品はさすがです、沢山の撮影素材からココという場面を見事に編集してるのですね。YOSAKOIも全国で開催されているみたいで、ここは泉州という近場ですね、いつも近所での題材ばかりの作品しかない私も一度挑戦したいような気もしますが・・・思うのと実際とは大違いと思うので、やめておきましょう（笑）

## 6. 田園のふるさとを訪ねて 鉄具嘉夫 13分00秒

ベートーヴェンの交響曲第6番「田園」の第二楽章を交野の楽団が演奏し、それを撮影された作者が以前に行かれたドイツ旅行の素材を中央に配置してまとめられました。日本人旅行客が多いようで日本語で「ベートーヴェンハウス」とありました、作曲中に思索した森など当時を偲ばせる情景などを興味深く見せていただきました。ただ編集手段としてバックの楽団演奏のシーンと中央に配置した映像と両方が動くので少々目が回ります、2画面の時はバックの画面を暗くするとかして目立たないようにされてはどうかと思います。また曲も全曲にしなくても印象的な所を旅行の画面に合わせていけば全体的に締まるのではと感じました。と、言ってしまうと簡単でも編集は大変ですよ～でもせっかくの良い素材が二つもあるのでからチャレンジしてみてください。

## 7. 11月のハンブルグ 山本正夢 8分40秒

ハンブルグはハンバーグの発祥地！そうなんですか、初めて知りました！8mmフィルムの頃から沢山の作品によって色々な事を教えてもらいました、今日はハンバーグですね（笑）作者はこの町を6度ほど訪れていてよく知った町とのこと、たしかに映像からは観光客目線では見え無いようなこの町に暮らす人々の息遣いや躍動が伝わってきますね。通勤には船も利用するようですが、その波のすごい事！ビックリしますが乗っている人達は慣れた様子ですね。また鉄道の駅には難民のための施設もあって日本では感じえない現実もありました、国際派の作者ならではの作品にいつも驚きの連続です。そしていつも最適な選曲をされていますね、お聞きしたところいつも作品に対しての選曲は約1日かけてイメージに合う曲を探されるそうです、うう～ん！なるほど～～～

## 8. 御柱祭・木落し 高瀬辰雄 7分10秒

諏訪の御柱祭は7年に1度、以前に紙本さんの作品を見せてもらいましたが、もう7年たったのか～と、それが先に浮かびました。今回も勇壮な木落しの様子を作者の目を借りて良い場所で見せていただきました。なんでも場所はすべて有料のチケットを買わないといけないそうで、祭りも世知辛いなあ（笑）それで伝統を守る一助になれば良いのですがね。作者はこの日3本の木落しをカメラに収め迫力いっぱい編集されて私たちにを見せていただきました、それぞれに木を曳く人達に思いがありその思いを引き継ぎながら脈々と繋がっていくんだなと、そんな思いが感じとれました。この木落しだけでは勿体ないので祭りを迎えた町の様子などを織り交ぜて、新たに作品を作ってみられてはいかがでしょうか？カット毎に感性ある作者ならではの作品を期待します。

## 9. 彩りの溪をゆく 森口吉正 9分20秒

タイトルは溪と書いて「たに」と読むんですね、場所は三重の赤目四十八滝でした。私は三重生まれですが行った事はありません、水が清く紅葉の季節で美しいですね。作者はナレーションがプロなみに上手いので先月来られた見学者の方に「TV番組ですか？」と聞かれました。ナレーションもさることながら、構成もしっかりしていてブレのない映像でまさに映像作品の王道ですね。この作品も滝にまつわるエピソードを織り交ぜながらただ美しい景色だけに止まらず、見ている観客を引きつける魅力ある内容で時間を忘れて見入ってしまいました。ただ一つだけ、あれ？と思ったのがクレジットタイトルに続くオープニング曲、たしか前も同じだったような気がします？シリーズ物の作品と言う事だからでしょうか？ちょっとその点だけが気になりました。

## 10. 元気と癒やしを求めて 稲田 拓 5分00秒

初めての作品という事で見せていただきました。えっ！ホントに初めて？いやいや、上手すぎますよ～ナレーションの終わりや曲の始まりが実に良いタイミングです、全体にテンポも良いしミスカットも無かったように思います。これを見たら須磨水族館がきっと欲しがります事うけあいです！最初からこんなスゴイ作品を持ってこられたらもう次作には期待100倍です（笑）是非ともこの楽しく素晴らしい趣味を仲間と一緒に続けていきましょう！注目の第1作で私達に大いに刺激をいただきました、これからもどうぞよろしくお願いします。という事で作品に文句はないのですが・・・このタイトル「元気と癒やしを求めて」・・・何か他に気の利いたタイトルはありませんでしたか？内容は確かにその通りなんです、もうちょっと洒落たタイトルが欲しいです！

## 11. 華燭 柴辻英一 5分00秒

お城で結婚式とは、まるで殿様になったみたいですね。市長さんからもお祝いが貰えるとはなかなかのサービスです、色んな事を考え出しますね～感心します。作者は撮影も編集もナレーションも！ベテラン中のベテランなのでまったくスキが無いですね、どこか文句をつける所が無いかと意地悪な目で見ていましたが、残念ながら無さそう（笑）ただ新郎新婦が杯を飲むシーンでは口が迎えに出てますね、たぶん私も同じと思います首を動かさず、杯を運ぶカッコよく飲む練習をしようと思いましたが（関係ない所に反応してすみません！）最後に二人が綱を引いて白いハトを空に放しカメラが岸和田城の天守にティルトアップして終わりとなるのですが、曲の終わりのタイミングに合わせたせいか少し間が長かったですね、やっと見つけた文句の付け所（笑）

---

## 4月第2例会レポート

今回は前半課題コン（別掲）があり、終了後一般作品3本の上映に入った。課題コン司会関氏、書記合原氏、一般作品の部、司会進藤氏、書記西村光雄氏の担当で進行。

■出席者：有村、稲田、江村、植村、紙本、河合、合原、関、進藤、西村光雄、高瀬、森田、宮崎、吉岡の14氏。

■上映作品（講評は西村光雄世話役）

### 1. 霧の中&オー・ラリー 有村博 5分12秒

霧の中もオー・ラリーもアメリカの音楽の題名だそうです。霧の中はMistyと言うジャズのスタンダードナンバーで、オー・ラリーは日本でも合唱曲になっていますし、ご存知の方も多いでしょう。作品は2部作のような形態で作られています。前半の霧の中は題名にふさわしく上高地の大正池や梓川が霧に薄く浮かぶ幻想的なカットに、短い時間で花をオーバーラップする構成になっています。霧の中の水面や枯れ木は早朝に撮られたのでしょうか。私も上高地には何回も行ってますがこういうカットを撮る事は出来ませんでした、やはり撮影のチャンスに恵まれるのは大事な事ですね。幻想的な風景と対照的な鮮やかな花を重ねるに当たって、オーバーラップが終わって花が100%鮮明な姿を現す前に消しのオーバーラップを入れて雰囲気壊さない配慮がされています。後半のオー・ラリーはハイビジョン撮影で2種類の美しい花をオーバーラップの途中で重ねて、前半とは違った華やかで幻想的な演出がされていました。静寂と華麗さをコラボレートされた楽しい作品でした。

### 2. 落ちた竜伝説 紙本 勝 9分10秒

四条畷近辺に伝わる竜神伝説を基に、現地を取材されて作品にされました。奈良時代にこの地方に大旱魃があり、困った農民のために旅の僧「行基」が雨乞いの祈願をしました。満願の日に若い竜が現れ雨を降らせて農民の困窮を救ったのですが、竜王の許しを得ないで雨を降らせたので竜王の怒りを買って、八つ裂きにされて近辺にその遺骸が散らばって落ちたという伝説です。村人はその場所を探し祠を造り感謝の念をこめて祀りました。作品は導入部として付近の神社や滝を紹介され、伏線とされています。村人の造った祠はその後立派なお寺となり、遺骸の部分にちなんで竜頭寺、竜尾寺と名付けられ今日では由緒あるお寺になっています。メインの部分はこれらのお寺を訪ね撮影されて伝説をナレーションにして構成されました。健脚の紙本さんらしく、丹念に撮られた多くのカットで緻密な構成をされて、竜神の画像をはめ込みで挿入される等、撮影と編集に時間を掛けられた秀作となっていました。

### 3. 消防出初式 宮崎紀代子 11分26秒

狭山市の消防出初式を撮影され記録作品にされました。撮影場所の制約があったのですが、カットのつなぎには画角を変えられたカットを使ってスムーズに溶け込める編集をされていました。撮影も各行事を網羅されて克明に撮っておられ良かったと思います。消防演技としてはしご乗りは見せ場の1つですが最近は安全ベルトを着用するのですね。江戸時代は消火人足と言われ、はしご乗りは消火鳶が粋がって曲芸的な技を競ったそうですが、今は安全第一の時代と言う事で、時代の流れを感じました。席上話が出ましたが記録作品はどちらかと言うと関係者に見せる（あるいは配布する）傾向になっています。不特定多数に見せるには余程珍しく興味のある材料が必要ですが、TVの普及でプロが世界中で時間を掛けてそういう画像を撮りまくっていますから、時間と労力に制約があるアマチュアには分が悪くなっていると思います。出来れば出初式の中で自分が見せたい物（訴えたい事）に焦点を絞って編集をされた方が一般向けするのではないのでしょうか。記録はそれなりに重要ですが、色んな分野への挑戦を期待しています。

---

## ■世話役会議の結果のお知らせ

去る4月18日北区民センターに関係者にお集まりいただき、PCによる例会作品の収録、役割り分担などについて取り決めた事項をOMCニュースとfacebookの会員専用欄に記載、報告します。

－ 記 －

平成28年4月18日北区民センターに於いて幹事会を開き、下記の事項を取り決めました。

出席幹事＝合原さん、前田さん、進藤さん、江村さん、坪井さん、河合さん、高瀬さん、関、の8名。

- ① データ収集のために中古ノートPCを購入する。
- ② あわせて、データ保存用の大容量HDDを購入する。
- ③ 例会でのコピー作業は、原則、江村さんをお願いする。しかし、DVD作成は中止する。
- ④ YouTubeへの作品掲載（アップロード）は希望する作者本人が行うことを原則とする。  
ゆえに作品提出票（例会場受付の出欠名簿）の掲載可否の欄は必要としない。  
各人が貼り付けたYouTube URLをホームページ担当者（坪井さん）に連絡する。
- ⑤ アップロード出来ない人のためにYouTube担当者が代行することは担当者の負担が大きいのので難しい。  
その必要性から、第2例回で、faceBook、YouTube の講習会を井上さんにやっていただきたい。
- ⑥ FaceBook artistを一般の人に見てもらって魅力あるサイトにするにはどうしたらいいか、  
よいアイデアを募集する。
- ⑦ 黒田先生退会で発生した映写会用プロジェクターの件は、エプソン業務機を視野に、  
予算、納期のことも考えながら引き続き検討する。